

# 議 事 録

会議名 令和5年度 第1回国見町総合計画審議会  
日 時 令和5年9月19日（火） 14:00～15:30  
出席者 20名（欠席者：1名）

## 1. 開 会（司会：企画調整課長）

## 2. 町長あいさつ

※町長より岩崎会長に諮問書を手交

## 3. 審 議

### ① 第6次国見町総合計画の評価について

【質問・意見】

- ・**委員**：No.58 の農産物の販売金額について、先日の民報新聞で今年 8 月末の桃の販売金額が 66 億 5 千万、昨年度は全部で桃の販売額が 68 億 8 千万と掲載されていた。今年の 8 月末の 66 億 5 千万が昨年より 4 億 7 千万プラスになっており、史上最高の販売額だったという記事が掲載されていた。資料の数値はどこまでを算出したものなのか。

**事務局**⇒資料の農産物の販売金額については、JA ふくしま未来国見営業センターの金額を載せており、伊達果実や個人、道の駅等の販売金額は含まれていない。

- ・**委員**：No.40 体力・運動能力調査結果比較値について、小学校-3、中学校-5.15 で、要因としてコロナ禍による各種活動の制限とあるが、夏の暑さが影響していると考えられる。体育の授業や部活動においても何度以上になると体育館で運動ができないという制限があり、保護者からも体育館にエアコンをつけてほしいという意見が多く挙げられている。子どもたちがのびのび運動できる環境を作れば数値も上がるのではないかと思う。

**事務局**⇒暑さ指数によって子どもたちの活動範囲はコントロールされている。体育館は避難施設でもあり、文科省から施設の空調整備を検討するように通知も来ているため、町でも検討したいと考えている。

- ・**会長**：具体的な時期については。

**事務局**⇒設置の可否を含め、財源等々を調査検討していく。

- ・**委員**：No.18 要支援者サポーター数について、現在 0 名で 2025 年の目標値を 50 名としているが、どのようにして 50 名集めるのか。

**事務局**⇒現在、福祉課で要支援者の避難経路を作成中。実際の支援に向けて目標を作成している。一人ひとりにあったサポートが必要となるが、サポーターの役割や必要性を整理できていないため、検討していく。

- ・**委員**：集める方法は。

**事務局**⇒集めるというのではなく、一人ひとりの計画に基づいたサポーターを養成したいと考えている。

- ・**委員**：No.26 携帯アプリ登録者数について、令和 3 年度に 14 名で令和 4 年度は 0 名という状況の中で中間目標 500 名となっているが、どうやって増やしていくのか。

事務局⇒No.25 の MaaS 利用者との関係もある。令和 2 年、3 年に藤田病院を中心とする Mass 事業の実証実験を行った。MaaS 事業を整備し、円滑な交通システムを構築すると同時に、携帯アプリでバスやタクシーを利用できるように計画をしていたが、高齢者が携帯アプリを利用するのは難しいと判断し、No.25、26 の事業は現在実施していない。代替案については令和 6 年 2 月の審議会で報告したい。

- 委員：携帯アプリというのは LINE のことではないのか。

事務局⇒携帯アプリと連携した形でタクシーの利用申し込みができるよう検討していた。

- 委員：高齢者にアプリを登録させるということか。

事務局⇒前回の実証実験では、若者を含めた藤田病院を利用する方を対象としていたが、実証実験を通して現在見直しているという状況。

- 会長：西会津町では、デマンドタクシーを導入している。国見町より高齢化が進んでいるため、例えば週に 1 回使い方を教える等丁寧に使い方を教えていかないと定着しないという話があった。国見町にとって一番ふさわしい形を検討してもらえれば。

- 委員：No.55 新規就農者数（過去 5 年間合計）について、新規就業者の定義について教えてほしい。

事務局⇒令和 4 年度実績 11 名、前年度実績が 6 名となっており、令和 4 年度に新規就農した方は 5 名いたということ。過去 5 年の累計で計上している。

- 委員：単純にその年度の新規就農者数にすればよいのではないか。

- 会長：過去 5 年の累計にした理由はなにか。

事務局⇒新規就農者数は多い時と少ない時の差がかなりあるため、数字の見せ方として年度毎の実績を書くのも良いと思ったが 5 年間の累計にした。事務局と相談し、次年度以降は掲載の仕方を変更することは可能。

- 委員：No.18 の要支援者サポーター数が 0 になっているが、町社会福祉協議会との連携なども必要ではないか。

事務局⇒社会福祉協議会とも協議していきたい。

- 委員：No.31 の 1 人 1 日当たりのゴミ排出量について、過去にコンポスト助成があり、畑の四隅にコンポストを設置したが、現在は生ごみを袋に入れてゴミとして出す農家が多い。コンポストを助成して有機肥料として使ってもらおうと思っていたと思うが、現実はどこに畑にもなく残念に感じている。その後の進捗はどうなっているか。

事務局⇒一人当たりのごみの排出量について、令和 2 年まで減っていたが、地震や人口が減ったこと等の理由から増えている。八巻委員からあったように、生ごみは水分を含んでおり重量がでてしまう。現在具体的な方策は打ち出していないが、地球温暖化対策を含めてゴミの減量対策は積極的に取り組む予定で、具体的な方策については検討中。

- 委員：No.53 防災重点農業用ため池に係る防災工事実施について、ため池の改修は県営事業となっているのに実績として入っているのはなぜか。

事務局⇒ため池の改修は県の事業に対して町も負担金を払い実施する。現在ため池の老朽化の調査を県営の事業で進めているが、県にすべて任せているわけではなく、県と町が協働で実施している。

- **委員**：令和 4 年度までは 0 ということなのか。  
**事務局**⇒現在調査を進めており、調査結果をもってどのような工事をするのか検討する。
- **委員**：高齢者の足がないのは大きな問題だと思う。MaaS 事業については、どのような実証実験をして、どんな結果がでたのか。  
**事務局**⇒MaaS の実証実験としているが、実際は藤田総合病院へのルートを確認するものだった。多くの利用者が藤田総合病院を起点として交通の足が必要としており、MaaS は携帯アプリや Ai により円滑な交通システムを確立する目的で実験を行った。携帯アプリで予約をすると運行ルートが運転手に通知され、円滑な運行ができるというものだった。システムの問題のほか、door to door の需要があり、携帯アプリのきめ細かい調整が必要となるため、現在運行しているまちなかタクシーを中心に交通のあり方を検討している。なお、まちなかタクシーで対応していない土日、早朝、夕方の方策を協議し、新しい方策を検討している。起点に考えたり簡単にシステムが出した運行ルートを確認できるものだった。交通システムを確立することを目的にした実験だった。
- **委員**：令和 2 年、3 年の実証実験に参加した町民はどのくらいいたか？  
**事務局**⇒詳しい資料は手元にないが、210 名の登録、1 日平均 8.6 人利用があった。

## ② 国見町過疎地域持続的発展計画の評価について

### 【質問・意見】

- **委員**：令和 2 年度は 8,639 人だった人口が 8,095 人という減少の幅の大きさに愕然としている。外から人が入ってくるより、出ていく人をとめることが大切だと思う。減少した要因の一つに死亡というのもあると思うが、町外へ流出した子育て世代の世帯数を調べてみてはどうか。もちろん、新しく町に入ってきて残っている人も大切だが、まず国見町に生まれ育った子育て世代が、この町で生活したい・暮らしたい・子育てをしたいと思える環境づくりが絶対的に必要なのではないか。教育環境や教育施設等、他の市町村にはない国見町だからこそできる・ある良さを確立して、流出に歯止めをかける施策が必要なのではないか。子育てをしたいと思える施策を充実させ、目に見える形で進めてほしい。  
**事務局**⇒出ていく方を少なくする取り組みが必要というのは以前の会議で伺っており、まさにその通りだと思っている。6 次総計の計画の基本理念の中でも“幸せに暮らす国見町”としており、住んでいる方がこの町に住んで良かったと思えるようにならないと、流出につながってしまうと思っている。大学進学後戻らず町外で就職している方の調査を可能であればやっていきたい。ライフイベントに合わせた国見の魅力を追求し、一人でも多くの方が国見町に住み続けたいと思える取組を検討・実施していきたい。
- **会長**：人口の社会増減について、統計等のデータで発表しているものはあるか。  
**事務局**⇒死亡された方は把握できているので、差し引けば出せる。
- **会長**：ぜひ分析したうえで施策を検討してほしい。どうしても移住に目が行きがちで、他の自治体でも移住者への引越支度金等の支援を実施しているところが多いが、子育て世代の定住施策を検討する必要があるのではないか。
- **委員**：9 の集落の整備で 4 事業中 1 事業実施とある他、ほとんどの項目が新しい事業は手つ

かずで、既存の事業のみやっている状況なのではないか。新規事業はいつから着手する予定なのか。

**事務局**⇒新規事業について、自治会組織活動支援事業、地域づくり団体の育成事業、生き生き集落づくり事業とあるが、集落の整備というのは人材育成という面が大きい。自治会の担い手がいない、地域のお祭りや地域活動等に協力してくれる人がいないという課題を抱えている。人口の維持にもつながってくるが、地域のコミュニティを作る新しい人材・若者の手助けをして、みんなで地域をつくることを目指し、地域団体の育成や活動支援を行っていきたい。この件については、条件が整い次第、速やかに予算化を目指している。

- **委員**：11. 再生可能エネルギーの利用の促進について、8 事業中 1 事業実施で具体的にはほぼ行われていないとあるが、カーボンニュートラルやバイオマス、エコタウン等はいつからどのように進めていくのか。

**事務局**⇒再生エネルギーについては、現在具体的に計画が進んでいない。過疎計画そのものが網羅的に事業を挙げ実施の準備ができ次第実施していくというものなので、必ず実施するというものではないが、必要であると認識しているため可能なものから順次実施していきたいと考えている。

- **委員**：水素生産及び水素ステーションの設置の検討と項目にあるが、検討しているか。

**事務局**⇒非常に難しいところもあるが、時代の流れとして、水素等のエネルギーを使う場面が増えてくることは考えられ、東京都青森県の間地点であることから、施設整備をしてもよいのではないかと考えている。

- **委員**：集落の整備の中で、条件が整えば実施していきたいとあったが、地域力が落ちている。災害があった時の避難や犯罪抑止等に危機感をもっている。その中で環境が整ったらというのは具体的にどういうことか。

**事務局**⇒環境の整備については、町内会や任意団体にどんな支援が必要なのか把握しきれていない。調査した上で補助が必要なのかマンパワーが必要か、依頼する項目を減らすべきか考えていきたい。

- **委員**：過疎対策係ができて 1 年。1 歩進んだ回答をもらえればと思っていたが残念。
- **会長**：田村市で集落支援員を新しく導入した。集落の整備は重要なことであるが、現実には進んでいない。職員が集落をこまめに回るのは難しいが、現場で地域住民の声を聞きながら主体的に関わっていくために外部人材を導入していこうと総務省でうたっている。集落支援員等を導入する予定はあるか。

**事務局**⇒総合的な問題だと認識している。町としても適正に縮小していくためにはどうしていくのが良いか検討していく必要がある。町内会の再編が必要になっていくのではないかと考えている。また、集落支援員の代わりに町職員が週 1 回各町内会を回って意見交換をしたり、各地区のコミュニティを起点に町の政策に挙げる組織作りをしていかないとこれからの人口減少時代に対応できないと考えており、次年度の政策に組み込んでいきたい。

### ③ 第6次国見町総合計画の一部変更について

【質問・意見】なし

### ④ その他

【質問・意見】

- ・**委員**：移住者にどこから来たか聞くと、HPを見てきたと言っていた。個人的に内容がわからずピンとこなかったが、若い世代は町のHPをタブレットで見ていると思う。町の良いところや特産品が出来た際には情報発信をどんどんして関係人口創出につなげてほしい。

**事務局**⇒P3のNo.67を見ると当町HPアクセス数はかなり多くなっている。現在、地域おこし協力隊の活動の中でInstagramを活用して町の生活をリアルに発信しているなど情報発信をしていますが、引き続き様々な方法で町の魅力発信をしていきたい。

- ・**委員**：資料3のP3には情報発信についてCI策定とあり、令和4年度に予算がついて策定委員会を開催したと記載されている。県内在住の人でさえ、国見町に対する印象が全くない人が多い。CI策定委員が3回行われた中で、国見町といえば〇〇という幹になるものが決まったのであれば教えてほしい。

**事務局**⇒CIの検討については令和4年度に3回実施し、町民の代表の方にご参加いただく中で、どんなものを推していくか検討をした。方向性はまだまとまっていないが、現在事務局で検討中。今後は検討委員会を開催して町民のみなさまからご意見をいただきながら、統一的なスローガンやロゴを作成していきたい。今後ご意見いただく場を設定するので協力をお願いしたい。

- ・**委員**：資料4をみて、費用対効果を考えなければならないのではないかと感じた。少子化は国見町だけではない問題。住みやすいランキングで桑折町が2位になっていて、隣町でこんなに違うのかと思っている。国見町らしい特典があれば来てくれるのではないと思う。仙台、郡山は通える範囲であり、場所は良いと思う。少子化対策を町職員だけでやるのは難しい。町民みんな考えていかなければならないのではないと思う。

**事務局**⇒みんなで考え、取り組んでいきたい。

※岩崎会長より町長に答申書を手交

## 4. 閉会